



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名 鬼怒川ゴム工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5196 URL <http://www.kinugawa-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関山 定男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 高橋 昭夫 (TEL) 043(259)3164
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	38,665	5.9	3,740	24.4	3,407	8.0	2,092	10.0
27年3月期第2四半期	36,494	0.0	3,007	△18.2	3,156	△21.9	1,902	△16.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,527百万円(78.3%) 27年3月期第2四半期 1,417百万円(△63.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	31.14	31.04
27年3月期第2四半期	28.30	28.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	73,758	40,165	52.6
27年3月期	71,371	38,021	51.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 38,826百万円 27年3月期 36,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	6.00			
28年3月期(予想)			—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	5.1	8,400	21.2	8,000	7.8	5,000	16.6	74.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 鬼怒川橡塑(鄭州)有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期2Q	67,299,522株	27年3月期	67,299,522株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	90,397株	27年3月期	85,787株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	67,210,862株	27年3月期2Q	67,218,570株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

平成27年11月16日(月)・・・機関投資家向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
※平成28年3月期第2四半期決算概要(参考資料)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、386億6千5百万円と前年同四半期と比べ21億7千1百万円(5.9%増)の増収となりました。

営業利益は、37億4千万円と前年同四半期と比べ7億3千3百万円(24.4%増)の増益となりました。これは主にアジアでの売上拡大による操業度の増加や、原材料の現地調達化拡大、グローバル同一基準のモノ造り活動によるコスト削減等によるものです。

経常利益は、34億7百万円と前年同四半期と比べ2億5千万円(8.0%増)の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、20億9千2百万円と前年同四半期と比べ1億9千万円(10.0%増)の増益となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

[日本]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、196億5千5百万円(前年同四半期7.0%減)となりました。営業利益は、操業度の減少を生産性向上活動等の合理化活動により補い、16億6千4百万円(前年同四半期0.8%増)となりました。

[米州]

売上高は、円安に伴う為替換算の影響により、72億8千4百万円(前年同四半期19.1%増)となりました。営業利益は、生産性向上や材料歩留りの改善活動などの効果があったものの、減産対応に伴う一過性ロス等により、9千万円(前年同四半期23.7%減)となりました。

[アジア]

売上高は、中国での主要得意先の自動車生産の増加及び主要取引先外での新車拡販の効果により、117億2千5百万円(前年同四半期26.7%増)となりました。営業利益は、操業度の増加及び新拠点での収益改善活動による効果等により、19億9千万円(前年同四半期64.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が4億2千2百万円、受取手形及び売掛金が5億2千3百万円増加したことなどにより、16億2千4百万円増加の386億2千1百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が8億5百万円増加したことなどにより、7億6千2百万円増加の351億3千6百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて23億8千6百万円増加の737億5千8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金が7億2千5百万円、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が18億5千8百万円増加したことなどにより、19億4千9百万円増加の241億7千2百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が19億4百万円減少したことなどにより、17億8百万円減少の94億1千9百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億4千1百万円増加の335億9千2百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が17億3千4百万円、為替換算調整勘定が5億8千6百万円増加したことなどにより、21億4千4百万円増加の401億6千5百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は6億9千6百万円と、期首に比べて4億2千2百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が3億9千6百万円、減価償却費1億3千5百万円、売上債権の減少7億2千6百万円、法人税等の支払額1億4千4百万円などにより、3億3千4百万円の増加（前年同四半期は1億2千2百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得1億4千8百万円などにより、2億5百万円の減少（前年同四半期は2億2千7百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少1億9千3百万円、配当金の支払額3億7千2百万円などにより、5億9千5百万円の減少（前年同四半期は3億1千4百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年8月6日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した鬼怒川橡塑(鄭州)有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,173	6,596
受取手形及び売掛金	21,160	21,683
商品及び製品	1,521	1,346
仕掛品	1,357	1,265
原材料及び貯蔵品	3,004	3,132
その他	3,844	4,654
貸倒引当金	△66	△58
流動資産合計	36,997	38,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,617	5,665
機械装置及び運搬具（純額）	8,495	8,804
工具、器具及び備品（純額）	976	1,024
土地	10,786	10,786
建設仮勘定	1,270	1,672
有形固定資産合計	27,147	27,953
無形固定資産		
のれん	108	81
その他	470	641
無形固定資産合計	579	722
投資その他の資産		
投資有価証券	5,223	5,294
その他	1,467	1,208
貸倒引当金	△43	△42
投資その他の資産合計	6,647	6,460
固定資産合計	34,374	35,136
資産合計	71,371	73,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,828	9,553
短期借入金	6,762	7,972
1年内返済予定の長期借入金	630	1,279
未払費用	1,295	1,193
未払法人税等	1,533	939
賞与引当金	852	850
その他	2,319	2,382
流動負債合計	22,222	24,172
固定負債		
長期借入金	4,260	2,355
役員退職慰労引当金	42	46
退職給付に係る負債	4,382	4,443
その他	2,442	2,573
固定負債合計	11,127	9,419
負債合計	33,350	33,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654	5,654
資本剰余金	849	849
利益剰余金	24,218	25,953
自己株式	△37	△40
株主資本合計	30,685	32,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	136
土地再評価差額金	2,616	2,616
為替換算調整勘定	4,058	4,645
退職給付に係る調整累計額	△751	△989
その他の包括利益累計額合計	6,058	6,409
新株予約権	87	104
非支配株主持分	1,189	1,235
純資産合計	38,021	40,165
負債純資産合計	71,371	73,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	36,494	38,665
売上原価	30,104	31,694
売上総利益	6,390	6,970
販売費及び一般管理費	3,382	3,229
営業利益	3,007	3,740
営業外収益		
受取利息	34	43
受取配当金	3	5
固定資産賃貸料	23	22
為替差益	294	—
その他	82	112
営業外収益合計	439	184
営業外費用		
支払利息	112	103
持分法による投資損失	131	10
貸倒引当金繰入額	14	—
為替差損	—	356
その他	31	47
営業外費用合計	290	517
経常利益	3,156	3,407
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	79	0
建物解体費用	61	—
割増退職金	13	13
その他	15	—
特別損失合計	168	13
税金等調整前四半期純利益	2,987	3,396
法人税等	1,056	1,235
四半期純利益	1,930	2,160
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	67
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,902	2,092

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,930	2,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	2
為替換算調整勘定	△648	486
退職給付に係る調整額	216	△238
持分法適用会社に対する持分相当額	△110	115
その他の包括利益合計	△513	366
四半期包括利益	1,417	2,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,431	2,443
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	83

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,987	3,396
減価償却費	1,009	1,235
のれん償却額	27	27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	27	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△50	61
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	3
受取利息及び受取配当金	△38	△49
支払利息	112	103
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△2
有形固定資産除却損	79	0
持分法による投資損益(△は益)	131	10
売上債権の増減額(△は増加)	△2,074	726
たな卸資産の増減額(△は増加)	△506	253
仕入債務の増減額(△は減少)	1,181	△419
未払消費税等の増減額(△は減少)	120	△160
その他	△480	△143
小計	2,531	5,032
利息及び配当金の受取額	38	49
利息の支払額	△112	△103
法人税等の支払額	△1,434	△1,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,022	3,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,830	△1,848
有形固定資産の売却による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△688	△456
その他	188	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,327	△2,503
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,446	681
長期借入れによる収入	1,400	—
長期借入金の返済による支出	△449	△875
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△335	△335
非支配株主への配当金の支払額	△35	△36
その他	△10	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,014	△595
現金及び現金同等物に係る換算差額	△184	88
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,525	323
現金及び現金同等物の期首残高	4,424	6,173
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	99
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,949	6,596

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,126	6,114	9,253	36,494	—	36,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,616	26	318	1,961	△1,961	—
計	22,742	6,140	9,572	38,455	△1,961	36,494
セグメント利益	1,650	118	1,209	2,979	27	3,007

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,655	7,284	11,725	38,665	—	38,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,291	12	197	1,501	△1,501	—
計	20,946	7,296	11,922	40,166	△1,501	38,665
セグメント利益	1,664	90	1,990	3,746	△5	3,740

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

参考資料

平成28年3月期 第2四半期 決算概要

【連結決算】

1. 業績

(単位:百万円未満切捨て)

区分	当第2四半期 累計期間実績 (H27/4~H27/9)		前第2四半期 累計期間実績 (H26/4~H26/9)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率
売上高	38,665	100%	36,494	100%	2,170	5.9%
営業利益	3,740	9.7%	3,007	8.2%	733	24.4%
経常利益	3,407	8.8%	3,156	8.6%	251	8.0%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,092	5.4%	1,902	5.2%	190	10.0%
1株当たり 四半期純利益	31.14円		28.30円		2.84円	

2. 貸借対照表

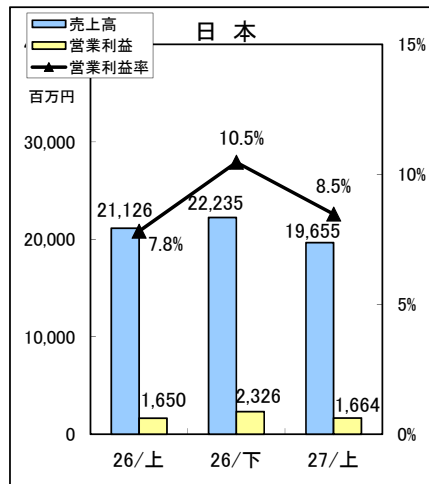
(単位:百万円)

科目	資産の部			負債・純資産の部			
	第2四半期	前期	増減	科目	第2四半期	前期	増減
流動資産	38,621	36,997	1,624	流動負債	24,172	22,222	1,950
現・預金	6,596	6,173	423	買入債務	9,553	8,828	725
売掛債権	21,683	21,160	523	借入金	9,252	7,392	1,860
棚卸資産	5,744	5,884	△140	その他	5,366	6,002	△636
その他	4,596	3,780	816	固定負債	9,419	11,127	△1,708
固定資産	35,136	34,374	762	借入金	2,355	4,260	△1,905
有形固定資産	27,953	27,147	806	退職給付負債	4,443	4,382	61
無形固定資産	722	579	143	その他	2,620	2,485	135
投資その他	6,460	6,647	△187	(負債計)	33,592	33,550	242
合計	73,758	71,371	2,387	株主資本	32,417	30,685	1,732
				資本金	5,654	5,654	-
				資本剰余金	849	849	-
				利益剰余金	25,953	24,218	1,735
				自己株式	△40	△37	△3
				包括利益累計額	6,409	6,058	351
				新株予約権	104	87	17
				非支配株主持分 (純資産計)	1,235	1,189	46
				合計	40,165	38,021	2,144
				合計	73,758	71,371	2,387

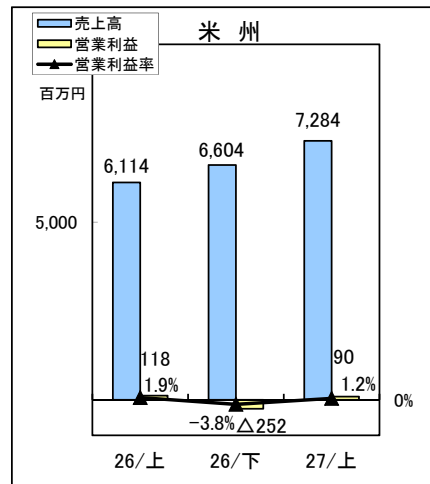
注) 主なB/S指標

自己資本比率	52.6%	51.5%	1.1%
総資本回転率	1.0回	1.1回	△0.1回
総資産経常利益率	9.4%	11.2%	-
D E R	0.3倍	0.3倍	0.0倍

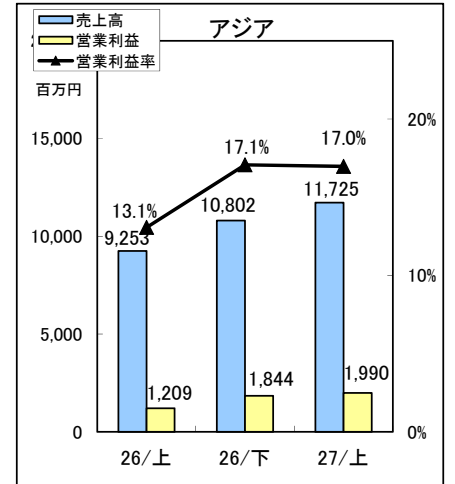
3. 所在地別セグメント情報



主要得意先の自動車生産台数の減少により減収、操業度の減少を生産性向上活動等の合理化活動により補い増益となった。



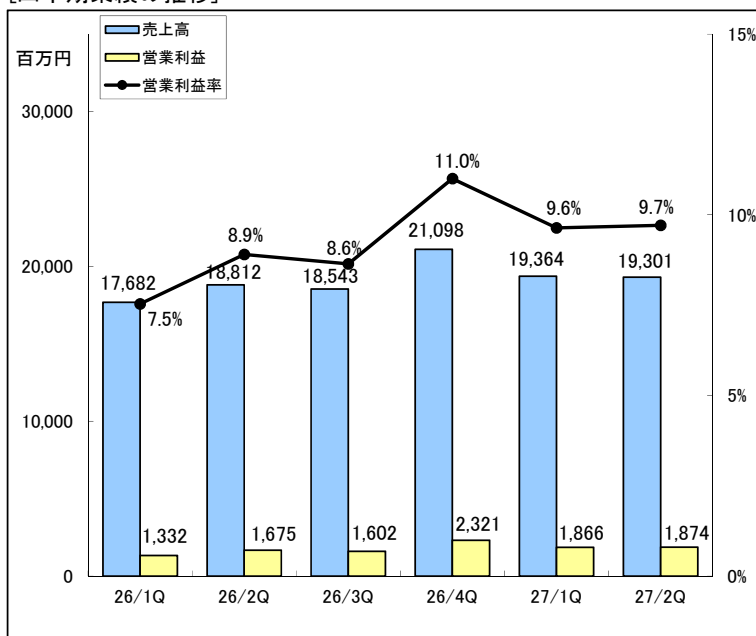
円安に伴う為替換算の影響により増収、生産性向上や材料歩留りの改善活動などの効果等があったものの、減産対応に伴う一過性ロス等により減益となった。(注)



中国での主要得意先の自動車生産の増加及び主要取引外での新車拡販効果により増収、操業度の増加及び新拠点での収益改善活動による効果等により増益となった。(注)

(注) 海外子会社は決算日が異なるため平成27年1月~6月を連結し、重要な取引については連結上必要な調整を行っている。

【四半期業績の推移】



【当第2四半期の主な活動内容】

- 短期収益の確保
 - ベンチマーク拠点を目標にグローバル同一基準のモノ造りを目指した生産性向上
 - 主要原材料の現地調達率UPと現地調達化対象品目の拡大
 - 短期集中の海外拠点支援活動による現場目線での課題解決活動と自主自立型の現地人材の育成
 - 新興国を中心に客先生産台数の増減に対応するためのオペレーター多能化と柔軟な生産体制の構築
- 売上の拡大
 - 米州における新規顧客からの車体シール、防振ゴム部品・ホース部品の受注拡大
 - アセアンにおける欧米系、中国民族系メーカーへの車体シール部品の受注拡大
 - 中国における既存設備を活用した建機・産機向けホース部品の生産体制の構築
- 仕事の質向上
 - 重点プロジェクト活動による改善活動
 - 一遮音性能と静粛性能を機軸とした製品開発による製品価値の向上
 - グローバルでのモノ造り重点活動
 - 現場管理体制の構築(工長の1日実践)、生産管理体制の構築、品質不具合の未然防止(4M総点検)